

約半数が「コロナ前より収入減」

受診抑制や開業医の高齢化等の実状訴える

長崎
保険医新聞

発行所

長崎県保険医協会

長崎市恵美須町2-3-2 F

電話 095(825)3829

FAX 095(825)3893

Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp

発行人 本田孝也

定価 1部 250円

年間 3,000円



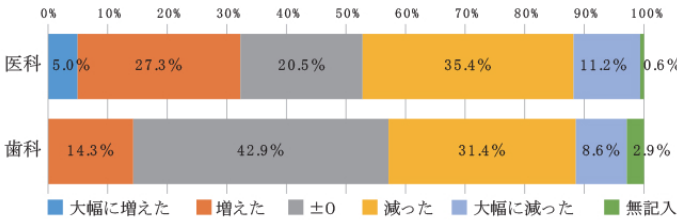
マスコミの注目を集めた記者会見

協会は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5月8日から「5類」に引き下げられるのを前に、今後の経営

見通し等を会員に聞く、ポストコロナ医療機関緊急アンケートを行いました(5頁参照)。200人の開業医から回答が寄

せられ、4月13日に県庁で記者発表しました。当日は本田会長が「開業医の6割以上が今後の

【図1】 コロナ禍前の2019年と2022年の保険収入の比較



「発熱外来は診療報酬上、優遇されてきたが非発熱外来医療機関の減収幅が大きくなっている」と、低医療費政策でくすぶっていた医療提供体制の不備など、一気に国の医療政策の問題点が顕在化したことも指摘しながら、5月以降は全医療機関で経営・診療への影響が出てくることを説明しました。

最後に、医療現場では

経営・診療体制に「不安に思っている」と説明し、その理由として、「コロナ禍の影響で受診控えの状況が続いている」「物価・人件費の高騰が経営を圧迫し、医療機関の収入は固定価格であるため、勝手に引き上げられない」と説明しました。

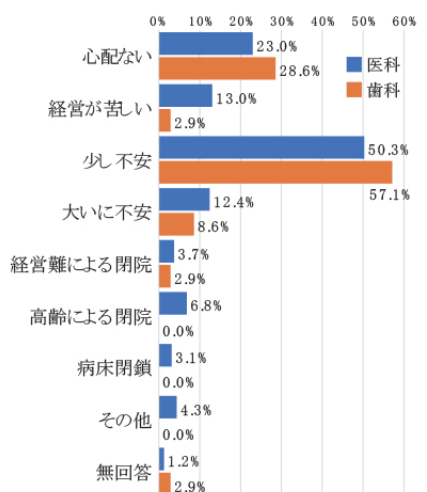
「発熱外来は診療報酬上、優遇されてきたが非発熱外来医療機関の減収幅が大きくなっている」と、低医療費政策でくすぶっていた医療提供体制の不備など、一気に国の医療政策の問題点が顕在化したことも指摘しながら、5月以降は全医療機関で経営・診療への影響が出てくることを説明しました。

最後に、医療現場では

主な記事

- 国民負担増の健保法改定案が衆院通過…2面
- コロナ5類移行診療報酬・公費大幅見直しへ…3面
- 講演「ヨーロッパの最新コロナ事情と日本のポストコロナ」…4面
- ポストコロナ緊急アンケート結果 経営の見通し「不安」6割超…5面
- 歯科研究会報告(3/31)…6面
- 2022年度実績分を公表…7面
- 保険医休業保障共済保険募集中…8面

【図2】 今後の経営の見通しについて (複数回答)



解説しました。特に、「全国で開業医はどんどん高齢化している。特に長崎市・佐世保市は全国でもトップクラス。開業医の平均年齢は63歳程度で巷では退職して第2の人生を送る年代だが、そうい

う年代が地域医療を支えている。医師の高齢化、コロナ禍の影響及び収入減で閉院すれば、結果的には県民の健康に関わってくる」と訴え、マスコミの関心を集めました。